

初 少年道外交流事業で訪問の洋野、大きな収穫

「友好の町絆協定」を結んでいる岩手県洋野町を訪ねる「少年道外交流事業」が8月8～11日に実施されました。町内の小学5・6年生17人が参加し、ドラマ「あまちゃん」の撮影が行われた種市高校や、複合産業施設「おおのキャンパス」などで数々の体験を行い、現地の人々とも交流。8月21日には浦幌で報告会を行い、それぞれが現地での成果を目を輝かせて発表しました。



種市高校を訪問した児童たち

お年寄りを楽しませたプラスバンドの演奏



敬老会、和やかに

町内3地区で開催
吉野地区（8月31日）、市街地区近郊（9月6日）、厚内地区（9月13日）の敬老会がそれぞれ和やかに行われました。この内市街地区近郊の敬老会には75歳以上の対象者207人が出席。主催の女性団体協議会の出口和枝会長が「いつまでもお元気でいてください」とあいさつ、水澤町長、村瀬政昭町社会福祉協議会会長が祝辞を述べ、田中重雄さん（75）が代表してお礼を述べました。祝宴では久門教育長の発声で乾杯。幼稚園・保育園児のダンスや浦幌中吹奏楽部の演奏などがお年寄りを楽しませました。最後に田村町議会議長の発声で万歳三唱で締めくくりました。

弘 川上会館用地を除草 栄建設に感謝状

川上地区の地域会館周辺の景観保全・環境美化の奉仕を行った弘栄建設（本社常広、宮下勇次社長）への感謝状贈呈式が、9月4日、町役場で行われました。同社は同会館に近い「北村の沢」の復旧治山工事（道発注）を請け負っており、これに対する地域貢献事業として実施したもので、8月1日に人員2人が草刈りや枯草の除去を行いました。式には宮下社長と中井賢太土木部次長が出席。水澤町長が宮下社長に感謝状を手渡しました。宮下社長は「これからも機会があれば地域貢献を行っていきたい」と話していました。



水澤町長から感謝状を受け取った宮下社長（中央）と中井次長（左）

老人ホームに寄附

株式会社道の駅うらほろ直売会（稲垣和幸代表取締役）は8月26日、養護老人ホームの運営に役立ててと、15万円を町に寄付しました。同社では「地域のために少しでもお役に立てれば」と、平成23年度から町内の2老人ホームに毎年交互に寄付を行っています。山本所長は「お気持ちは大変ありがたいと、入所者のためにつかせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



寄付金を手渡す稲垣代表取締役（右）



交通安全を呼びかける会員

道の駅で交通安全啓発

浦幌町交通安全協会など
8月14日、道の駅うらほろで、お盆期間中の交通安全を呼びかけるキャンペーンが実施されました。このキャンペーンは全道の道の駅で一斉に実施されたものです。当日は、池田警察署署員、浦幌町交通安全協会会員らが、道の駅駐車場に来訪者にキャンペーン用チラシ等を配布し、交通安全を呼びかけました。

吉 西江建設が住民とともに 野地区で除草、清掃

西江建設（本社常広、西江靖幸社長）は9月10日、地域住民と協力して吉野地区の道路清掃、除草作業を行いました。同社は平成12年から同地区に工事事務所を開設しており、地域貢献と住民とのコミュニケーションの場として実施。当日は同社から10人、住民6人が参加し、午前9時から地域内の町道沿いの草刈りや清掃を行いました。



清掃作業を行う西江建設関係者と住民